



息を合わせて、引っ張れ、引っ張れ～
みんな本気出してる？

(写真:6/6 端野中学校運動会):綱引き

「地域おこし協力隊」とは？

人口減少や高齢化が進む中、地域の活力を維持するために担い手となる人材を地域外から積極的に誘致し、「地域協力活動」を行いながら、地域への定住・定着を図ることを目的としている制度であり、地方創生の中でも重要な取り組みの一つであります。

端野町では4月から、内木 一貴さんが、新たな農業の担い手として豊実・北登地域をより活性化するために活動しています。

主な活動内容は、就農を目指した農業に関する知識や技術の習得、地域農業の振興に関する調査・研究、地域の活性化に資する活動、市イベントへの参加などです。

内木さんの活動について、随時紹介していきます。



ないき かずき
内木 一貴さん

活動インタビュー その①

―応募したきっかけは？

小学生の頃から母方の実家で農業の手伝いをしていました。その時から、いつか農業に携わってみたいとずっと考えていて、そんな時に農業の本場北海道で協力隊の募集があったので応募しました。

―これまでの活動内容は？

ジャガイモを植える準備から植えるまで、ビート植えから補植、モミ蒔きなどの農作業です。初めてトラクターやフォークリフトに乗った時は、「こんなに大きな機械を自分が動かしているんだ」ととても緊張しました。

また、草取りなどの細かい作業は根気が必要で、慣れるまでは少し大変でした。ジャガイモ、ビート植えでは、「今植えているものが秋の収穫までどのようなように成長していくのだろう」と、考えながら作業するのがとても楽しく、やりがいを感じています。

―今後の抱負をどうぞ！

地域おこし協力隊として、まだスタートを切ったばかりですが、今までの生活の中では決して気付くことができなかったことや、考えもしなかったことを毎日経験させていただいています。

まずは、この一年間お世話になっている農家さん達とのコミュニケーションを大切にしつつ、農業を今以上に好きになり、一年後には何か一つ自分で作物を作りたいです。将来本格的に農業に携わるようになった時に、この活動で経験し、学んだことをしっかり活かしたいと思います。

まちづくりパワー支援 補助金採択事業紹介

4月25日、6月15日に行われた端野まちづくり協議会にて、平成29年度まちづくりパワー支援補助金の採択事業が決定しましたので、紹介します。

①ふるさと桜事業 (ふるさと桜会)

先人から引き継いだ三区屯田の森周辺を整備し、桜木やコブシなどを植樹するとともに、管理・手入れを地域住民の手で行い、子どもから高齢者まで異世代の交流の場の創出や、地域コミュニケーションの充実強化を図ることを目的とする事業です。
(5月6日土曜日に実施済)

②夢にむかって「未来への挑戦」事業

(たんの子どもスポーツ応援団)

スポーツ教室を通して、未来への大きな夢をもつ地域の子どもの健全な成長のサポートを目的とする事業です。
(7月に開催予定)

③心を育むコミュニケーション

マジック事業

(心を育む人源塾)

マジックショーを通じ、笑いや驚きを媒介とし、コミュニケーション力を感じることや、意識の活性化により豊かな心を育むことなど人間力の向上を目的とする事業です。
(8月開催予定)

協和・川向・端野小・中学校 運動会の様子



▲協和運動会



せ～の
飛べ～

僕たち
上手で
しょ?



▲川向・小桜保育園合同運動会

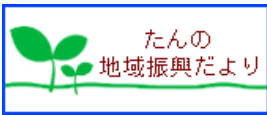


▲端野小学校運動会

若葉にかおる
風清し～



▲端野中学校運動会



「たんの地域振興だより」は、北見市ホームページにも全号掲載しています。
<http://www.city.kitami.lg.jp/chiiki/tanno/>
←ホームページ内のこのアイコンからGO★ オールカラー版です！

